

■ 1984年
8月20日

第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

■ 発行人

関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F 定価100円

**KSKP
No.90**

全国肢体不自由児者父母の会連合会の活動情報誌の表紙を飾る題字「わ」。

湖南ホームタウン

榎原正仁さんの書です。

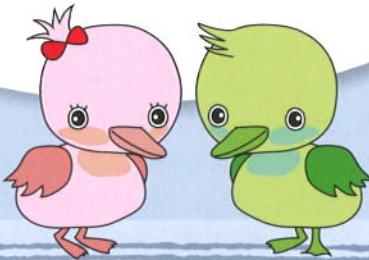
平安文学研究者・
京都学園大学人間文化学部教授**山本 淳子 氏**

より現職。『源氏物語』を生んだ一条朝の時代像を文学と歴史の視点から研究している。2007年、『源氏物語の時代—一条天皇と后たちのものがたり』(朝日新聞社)により、サントリー学芸賞(芸術・文学部門)受賞。著書は受賞作の他、研究書『紫式部集論』(和泉書院)、林真理子氏との共著『誰も教えてくれなかった『源氏物語』本当の面白さ』(小学館)など多数。



かいづぶり 通信

題字 酒井雄哉大阿闍梨



かいづぶりエッセイ vol.26

プロフィール

1960年、石川県金沢市生まれ。京都大学文学部卒業。石川県立図書館加能史料編纂室員・石川県立金沢辰巳丘高校国語科教諭を経て、京都大学大学院人間・環境学に入学、同修了。博士(人間・環境学)。2008年4月

「あけぼの」の明るさ

平安時代の文学を研究しています。平安文学といえば、『枕草子』の「春は、あけぼの」という一節が良く知られていますね。ではこの「あけぼの」は、明るいのでしょうか、暗いのでしょうか。答えは、「暗い、でもちょっとだけ明るい」です。真夜中の闇の底に、ほのかに朝日の気配が兆す時間、それが「あけぼの」です。

『枕草子』を読むと、宮中の日常生活がわかります。例えば、時刻。平安時代には子から亥の十二支で時刻を表しましたが、腕時計もない時代、天皇や貴族たちはどのようにして時刻を知ったのでしょうか。それは、まず水時計です。官庁街である大内裏のほぼ真ん中に、陰陽師たちが働く「陰陽寮」があり、そこには「漏刻」と呼ばれる水時計があって、絶えず時間を測っていました。そして30分毎に鼓と鐘を鳴らしました。例えば、子の一刻には鼓八つと鐘一つ、といった具合です。でも、鼓や鐘の音はそう遠くまでは聞こえませんね。そこで次に、人を使ったのです。

天皇の住まいである内裏では、近衛府の役人たちが真夜中の時報係を務めました。寒い夜、清少納言が耳を澄ませていると、係のこぼこぼという靴音が近づいて来ます。そして、魔よけの弓弦の音に次いで、自分の名前と「寅四つ」など時を告げる声が聞こえるのです。こんな日常に清少納言は「をかし(素敵)」と胸をときめかせました。「寅四つ」は午前四時半。春ならばそろそろ「あけぼの」の時間でしょうか。

CONTENTS コンテンツ

〈特集〉	2・3
理想のシェアハウス考える。 [Part.2]グループホーム運営から見えてきた、シェアハウス実現の課題	4
〈お知らせ〉	4
2012年度「ふれあい作文」募集事業報告	5
〈レポート〉	5
「障害のある子どもを育てる運動」ご協力者をご紹介します。 湖南地域身体障害者相談支援センター「やじろべえ」	6
〈インフォメーション〉	7
Dr.植松のQ&A	7
〈トピックス〉	8
ようやく完成!新エレベーター 新入職員紹介 縁の下の力もちサン 障害者権利条約ってなに?	8

理想のシェアハウスを考える

～障がいのある人たちとの安心安全で心豊かな暮らしの実現に向けて～

Part.2

グループホーム運営から見えてきた、 シェアハウス実現の課題

京都南部の相楽郡に、重度の障がい者、知的障がい者などさまざまな障がいを持つ人のためのグループホームを運営している「社会福祉法人 相楽福祉会」があります。1989年にグループホームという制度が作られる以前から、障がい者と共に暮らせる場づくりに取り組んでこられました。その歩みと、その中でどのような現実的な課題に直面しているのか、ということについて、理事長の坂東敏和さんと、「サービスセンター相楽」センター長の湯浅奈緒子さんにお話をきいてきました。

■相楽福祉会は、どのようなところからスタートしたのですか。

当時、京都府南部は障がい福祉が最も遅れている地域と言われていました。創設者の廣瀬明彦さん(故人)が「障害児者日曜学級」を開設し、日曜日の障がい児童の居場所を作ったのですが、学校卒業後の通える場所こそ必要だと云う大きなニーズに気がついて運動した結果、1981年に相楽共同作業所を開設されました。

ところがその中で、親の死や虐待などのため、現実に帰る家をなくしてしまう人が出てきました。そこで、1985年に、民間のアパートの一室に生活訓練寮を開設したのがスタートでした。

■グループホームという形になったのはいつからですか。

1989年に、地域生活ホーム「相朋舎」を開設したのが、グループホームという形のスタートになります。当初は家族の支援で支えられていた障がい者の暮らしでしたが、ご両親が年齢的、体力的に支えることが難しくなったり、離婚などで家族で支えられなくなったケースが出てきました。そんな中で、障がい者

相楽福祉会
理事長
坂東敏和さん



本人の暮らしのものを支える場が必要だということから、グループホームという形で支援をするようになりました。もともと、将来的な構想があったわけではなく、その時その時に出て来た切実なニーズに合わせる形で展開していったんです。

■現在は、どのような体制で運営されていますか。

現在、8カ所のグループホームで、計24名の利用者が生活しています。職員の方は、ご家族と協力してボランティア組織を別に作ってそこへ応援に入り、手当だけもらってグループホームに宿泊するという形で運営しています。ただ、利用者ごとの様子の違いによって、利用者と職員の比率が1:1~3:1の差があり、バラバラなのが現状です。一方では効率的な運営を求めるを得ず、今年5月に開所した新しいグループホームでは、利用者と職員が8対2という支援比率で運営をスタートしました。

■8対2といったグループホームですが、何かとシステムチックになるのではないかでしょうか。

確かに、人数が多くなるほど、規則を作つて互いに調和していくしかなければならない部分が増えます。そうすると、個別支援では自由にできていた対応が、集団の中では「なぜ、あの人だけが」という見方になってしまいます。また、利用者さんが服用する薬の管理など、ミスが起こらないようなシステムが必要になってきます。そう思うと、これまでの1対1や3対1といった少人数の運営の方が理想に近いと言えます。

ただ、実際に8対2で運営してみると、意外に上手くいっている部分があります。利用者側からすると、今まで1対1で職員がついていたので、いつも一緒にいて逆に精神的に逃げ場のない状態だったのかもしれません。また、職員も2人いることで、支援する側の不安感もある程度解消されますし、ダブルチェックも機能します。そうすると余力が出てくるので、もっとゆとりのある積極的な支援もできるかなと思っています。

■利用者は、身体障がい者、知的障がい者など障がいの種類や程度もそれぞれに違うそうですね。効率という点では、同じような障がいの種類、度合いの人でグループになった方が対応しやすいのでは、と思うのですが、どうなのでしょうか。

確かにそういう一面はありますが、むしろ利用者同士の相性の方が大切なんです。例えばお互い無口な車椅子の人同士よりも、車椅子の人といつも誰かに話を聞いてもらいたい人の方が、一緒に生活するには互いに刺激になってうまくいく、ということがありま



サービスセンター相楽
センター長
湯浅奈緒子さん



▲グループホームである「はぜホーム」は今年の5月に完成したばかり。女性8人が個々の部屋で独立した環境で暮らし、ヘルパーは午前と午後に一人ずつ24時間体制となっている。
現在、同じ体制の男性だけ8人入居型も進めている。

食事を共にするリビングルーム。▶



▲手前の2部屋は自由に入出しができるドアも併設している。

す。やはり、一緒にいて楽しい、面白い関係がなければ共同生活はうまくいかない。

■障がい者とのシェアハウスを実現するためには、支える側の意識が大切なかなと思うんです。支える側が、仕事であっても楽しみながら支援していると受け止められる部分が必要ですね。職員のみなさんの、支える側の意識としてはどうでしょうか。

理念的には、共に同じ時代の日本に生まれて、お互いに生きにくさを感じている部分があります。それを、それぞれが補い合いからやっていきたいという考えがベースにはあると思うんです。しかし、今は130人の職員を抱えるまでになっています。そうすると、どうしても理念に共感して働く人だけでなく、仕事は仕事だと割りきって働く人も出てくることは避けられません。宿泊があるということもあって、職員の募集は、以前に比べても難しくなっていますね。ここまででは仕事だけでもここからは楽しもう、というせめぎあいの中で、この暮らしを楽しめている職員もいるだろうけれども、仕事として割り切って勤める考え方が出でるのはやむを得ないこともあります。

■率直に、障がい者と健常者とのシェアハウスは成り立つと思われますか。

シェアハウスというのは、住む当事者の自発的な動機によって、居住者同士が合意を形成しながら共同生活を送るというものです。ところが障がい者の場合は本人の意思というよりも、親御さんの意思によって来ている人が大半なので、共同生活をする上で必要な合意形成が成り立っていないことがあります。また、シェアハウスの場合はみんなが住民であり、同時に互いの支援者であるけれども、この場合は介護者という要素が入ってくるので、シェアハウスという観点で見していくと、どうしても、概念に合わない側面が見えてきています。ですから、これが一般的にいうシェアハウスの概念と一致するものかどうか、ということにはいつも疑いを持たなければなりません。

■そのような現実がある中で、坂東さんご自身は、どのような暮らし方を理想として運営されているのですか。

支える側にとっては労働という一面がありますが、入所される利用者にとっては、ここでの生活は「個々の暮らし」なので、やはり、一人ひとりに合った形を作るというのが理想ですね。しかし現実には、明らかに提供できる選択肢が少ない。グループホームにしても、スタッフが1対1でつくのが良いのか、3対1がいいのか、という選択肢が出来るだけたくさん準備できるといいなと思うんです。私たちの出来ることは、いつも選択肢を用意しておくことです。これが一番良いという提示の仕方ではなくて、1人暮らし、2人暮らし、3人

社会福祉法人 相楽福祉会

1978年に故 廣瀬明彦さんが結成した「精華町障害児者育成会」により活動をスタート。1985年より民間アパートの一室に生活訓練寮を開設。障がい者と共に暮らす活動が始まる。1989年、地域生活ホーム「相朋舎」を開設し、週一回のショートステイや入浴介助サービスも手がける。その後、共同作業所や授産施設を開設し、障がい者の暮らしを通所、就労、生活など多面的に支援している。

【問】相楽地域障害者生活支援センター

TEL: 0774-93-3936 FAX: 0774-93-3937

〒619-0241 京都府相楽郡精華町祝園構ヶ坪 26-4 「祝園さくら館」

HP: <http://www.souraku-fukushikai.ecweb.jp/>



▲2005年に開設した「第五相朋舎」には6人が入居中。
1対1で24時間サポートが付く者や、就寝時だけ等、ひとり一人の障がいにヘルパーが対応している。



▶入居者が昼間作業所に出ていている間に、ヘルパーは掃除、夕食、大量の洗濯をし、入居者が個別に暮らしづらい環境を整えている。



▲奥の部屋に入居者が、手前には万が一の時にいつでも対応できるようヘルパーの部屋も隣接。

グループホーム利用者料金(月)	
家賃	35,000円
修繕費	5,000円
食費	20,000円
計	60,000円

▲ほぼ24時間お世話が必要な利用者のための部屋。

暮らし、それに経験できて、その中から自分の思いで選んでもらえる、という形を作ることですね。誰かが勝手に人の暮らし方を決める、というのは、驕りにつながるのではないかでしょうか。

■創始者の廣瀬さんが、その人のニーズに合わせて形を作つてこられたのも、そういう考え方方がベースにあったからかもしれませんね。どうもありがとうございました。

まとめ

「シェアハウス」の「シェア」には分かち合うという意味があります。互いが対等に、暮らしのあり方に意見を出し合いながら折り合いをつけて暮らすことが原則です。この点は障がい者の場合も同じで、本人が「このような暮らししたい」という意思を、共に暮らす人に伝えられることが重要です。誰かに与えられたままの暮らしではシェアハウスとは云いにくいと思います。多くの障がい者の場合は、ご家族の意思が前面に出がちです。そんな実情の中、「私たちに出来ることは、いくつも選択肢を用意しておくことです」と話された坂東理事長。今すぐ、障がい者との「シェアハウス」は難しい課題かもしれません、その運営の姿勢や考え方を取材した限りでは、入居者同士だけでなく、介護支援に参加する健常者ともシェアし合える可能性のようなものが見い出せそうな気がします。

また、「同じような障がいの種類、度合いの人でグループになった方が対応しやすいのでは」という私の愚問に、「利用者同士の相性の方が大切なんです」と直ぐに返された言葉が非常に印象に残りました。障がいの有無に限らず、一緒にいてお互いが刺激し合ったり協調し合ったりして楽しく暮らせる関係であってこそこのシェアハウス。まずはその原点を忘れてはいけません。

次回はシリーズ最終回です。具体的なシェアハウスにどこまで近づくことができるでしょうか。

お知らせ

2012年度「ふれあい作文」 募集事業報告 (障がい児・者との共育・共生をめざす作文)

この事業は、県内全ての小・中学校の児童生徒に呼びかけて開催しています。今回で4回目となりました。昨年度は少し取り組み開始の時期が遅れましたが、それでも多数の応募があり、審査関係者は嬉しい悲鳴を上げていました。

応募総数 216件

受賞者(2012年度の学年)

- 理 事 長 賞 「妹」 守山市立守山南中学校2年 原田 果歩さん
 - 会 長 賞 「ていねいに接するということ」
守山市立守山南中学校1年 音野 和輝さん
 - 審査委員長賞 「私の宿題」 彦根市立西中学校1年 山根 久実さん
 - 審査員特別賞 「五体満足」 彦根市立金城小学校5年 藤川 快さん

佳作

- 「みやびくんへ」
甲賀市立綾野小学校3年 村田 萩香さん
 - 「みんなといっしょに」
長浜市立小谷小学校4年 辻中 翔麻さん
 - 「いとこのたくちゃん」
長浜市立神照小学校5年 大住 倭子さん
 - 「人を助ける勇気」
長浜市立小谷小学校5年 中島 百恵さん
 - 「私の祖父は宝物」
長浜市立西中学校1年 稲田 佳邦子さん
 - 「私の妹」
彦根市立稻枝中学校1年 石谷 愛里さん
 - 「魔法の言葉」
大津市立日吉中学校2年 島村 優花さん
 - 「障がい者の社会貢献について」
大津市立日吉中学校3年 佐久間 瑞季さん

入賞ならびに佳作に選ばれた作品の文集は、冊子にして県内の行政、図書館ならびに全ての中学校へ寄贈致しました。関心をお持ちいただいた方は是非お読みください。

主催者・編集者一同



「障害のある子どもを育てる運動」ご協力者をご紹介します。

父母の会では、「障害のある子どもを育てる運動」を通して、障がいのある子どもの生活向上を目指し、療育活動の一層の充実を図るとともに、地域社会における障がい児(者)への理解促進とバリアフリーの実現を呼びかけ、障がい児(者)福祉の向上を推進しています

平成24年10月1日～平成25年1月31日にご協力いただいた方々をご紹介します（敬称略）。
ご協力ありがとうございました。

湖南地域身体障害者相談支援センター“やじろべえ”

今年度より、守山・野洲・栗東の三市より、主に「身体障がい」の方の相談支援事業を受託することになりました。

“やじろべえ”的ネーミングは、すばり「調整の利いた」という意味から決めました。他にも「バランスの取れた」という意味が連想され、「中立的な!?」と質問をされることもあります。

必要な場面では中立性を発揮しながらも、あくまでも地域にお住まいの当事者様、ご家族様の立場に立って支援をさせていただくことを軸として事業を開拓していきます。

これまでの経験を活かし、皆様からの一つひとつのご相談を通して、勉強していきたいと思っています。

そして、「調整の利いたコーディネート」をすることで、お返しできるように努めていますので、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

やじろべえ 連絡先

事務所：
かいづぶりハウス
(湖南ホーラタウン) 内

〒524-0022
守山市守山町 168-1
TEL : 077-581-4448
FAX : 077-514-1702
携帯 : 080-8539-1422
Mail : yazirobee2013@gmail.com

滋賀県障害児協会のホームページ
<http://open-mind.jp/>



m 「やじろべえ」
担当: 河田寛隆

インフォメーション

第46回 全国肢体不自由児者父母の会連合会 全国大会の開催について

テーマ

『ゆいま～る精神は福祉の原点』

～障害者総合支援法施行後の必須財源とマンパワーの確保について～

開催期日

10月26日(土)・27日(日)

<前夜祭: 10月25日(金)17:00～>

会場

パシフィックホテル沖縄(万座の間・珊瑚の間)

<情報交換会>ロジワールホテル&スパタワー那覇(天妃の間)

内容

1日目

- 10:30～ 受付開始
- 12:20～ アトラクション・浦添ゆいゆいキッズシアター
- 13:00～ 開会セレモニー
- 14:10～ 尺劇・基調講演
- 16:10～ 記念講演「助け合うってどういうこと?」

2日目

- 9:00～ シンポジウム
「ニーズに応えるためフットワーク・チームワーク・ネットワークの最大活用の術について」
- 11:45～ 閉会式

Dr.植松の Q & A



植松潤治先生プロフィール

かいづり診療所 院長

湖北グリーブクリニック 院長

日本小児科学会専門医
日本小児神経学会専門医日本リハビリテーション
医学会認定臨床医

平成元年滋賀医科大学卒業。医学博士。介護支援専門員。日本小児科学会、日本小児神経学会、日本リハビリテーション医学会所属。

Q

風疹注意報が出ているそうですが、 どういったことでしょうか。

風疹の大流行の兆しがあると言う事で厚生労働省から発令されました。3月末時点で昨年の感染者数を超えて5月当初で昨年の二倍、5000人以上の感染者が出てしまいました。

風疹は子供の病気の様に思われますが、成人も感染します。特に、妊娠している女性が感染すると、胎児に影響が出る場合もあり感染対策が必要です。

今回の大流行は男性が多くを占めていることも特徴です。これは、これまでの予防接種行政の狭間でワクチン接種が終了されていない方がおられることが影響しているようです。

ご家族や周囲に妊娠されている方がおられる場合は注意をしましょう。特に男性はご自身の感染予防も兼ねてワクチン接種が勧められています。

詳しくは厚生労働省ホームページを参照してください。

▶ <http://www.mhlw.go.jp/>



年齢によって異なる風疹の予防接種状況	
性別	性別
0歳～23歳 1990年4月2日以降生まれ	2回個別接種 ※13～23歳は2回目接種率が低い
23歳～25歳 1987年10月2日～90年4月1日生まれ	個別接種
25歳～34歳 1979年4月2日～87年10月1日生まれ	中学生時に医療機関で個別接種 ※接種率低い。幼児期に選択接種している場合あり
34歳～51歳 1962年4月2日～79年4月1日生まれ	接種なし
51歳～ 1962年4月1日以前生まれ	接種なし

ようやく完成!! 新エレベーター

施設にあるエレベーターが1台だけでしたが、開所7年目にして、滋賀県からの協力もいただき、ようやく2台目が完成、4月1日に完成記念式典を催しました。写真はその時の様子です。また、工事期間中は、利用者様はじめご家族様また外来患者さんほか、いろいろとご不便をおかけしてきました。この場をおかりしてお詫び申し上げます。

さて、設置工事期間中には、おもわぬ楽しい出来事もありました。写真にある利用者さんお二人は特に、日々工事の様子が気になるようで、毎朝、笑顔で見学?観察?監視?されていました。一方で大工さんもいつからか、そのことに気づいた様子で、今までにない笑顔で張り切っておられました。工事が終了すると、お二人ともに完成の歓びとともに、さびしさを感じておられる様子でした。最後に、あらためて関係者みなさんに感謝し、大切に使用したいと思います。ありがとうございました。



▲新エレベーターのオープニングセレモニーの様子

トピックス

新入職員紹介

【湖北タウンホーム】



【湖南ホームタウン】



縁の下の力もちサン

寄付金

【湖北タウンホーム・滋賀県障害児協会宛】
乗光秀明様、NTT西日本様

【湖南ホームタウン・滋賀県障害児協会】

滋賀県自閉症協会 会長 高木正二郎様、NTT 西日本 滋賀支店様、NTT 西日本 みやこ様、NTTマーケティングアクト様、愛荘町社会福祉協議会様、田中仁一郎様、岩本剛様、岩本弘子様、北川博文様、下田義春様、乗光秀明様、乗光三津子様

ボランティア

【湖北タウンホーム】

古脇慶子様、伊藤ゆきえ様、赤井淑子様、小畠満智子様、虎姫老人会様、日赤奉仕団様、吉里充弘様

【湖南ホームタウン】

吉身学区社会福祉協議会ボランティア部会ボランティア登録者様、車椅子レクダンス矢車草の会様、レイカディア大学34・35期生、楽々20様、大正琴・なごみ会様、北川英次様、森田孝子様、村山晴美様、西村孝代様、三本栄子様、樋口操子様、大倉ミヤコ様、川邊康子様、芝田規子様、津田貞子様、津田善之助様、津田由紀子様、林田博恵、松村糸代様、山田一子様、寺井美耶様、谷口早苗様、近藤欣子様、朝倉康夫様、森どし子様、戸梶英美子様、等良介様

物品ご寄付

【湖北タウンホーム】
高須賀安子様、古谷様、虎姫エアロビクスグループ様

【湖南ホームタウン】

ダイヤモンドグループ 代表 青谷晴美様、八島昭三様、山本宗明様、林松枝様、石田営農組合様、北川英次様、津田貞子様、青木えい子様

書き損じハガキが
ございましたら、
父母の会事務局まで
よろしくお願いします。

障害者権利条約ってなに?

シリーズ第16回目

自由に、君の意見を 言ってごらん

イラスト:小林一美

学年が上がる毎にみんな成長していきます。その途中で障がい児が様々な問題に直面するのもまた事実。そんな時には「どんな問題で困っているのか、自分はそれに対してどうしたらいいのか、どんな支えを欲しているのか」の意見を自由に述べていいのです。その意見が聞き届けられ、手を差し伸べられることで、健やかな成長が守られます。



障害者権利条約から 部分的に抜粋して ご紹介します。

第7条 障害のある児童 より…

(3) 締結国は、障害のある児童が、自己に影響を及ぼすすべての事項について自由に自己の意見を表明する権利並びにこの権利を実現するための障害及び年齢に適した支援を提供される権利を有することを確保する。この場合において、障害のある児童の意見は、他の児童と平等に、その児童の年齢及び成熟度に従って相応に考慮されるものとする。

障害者の権利に関する条約和文テキスト(仮訳文)より。

※外務省ホームページをご覧下さい。

障害者に関する法は、リハビリテーションや福祉の観点から考えることが多いですが、障害者権利条約は人権の視点、障害者の視点から作られた条約であることが特徴的です。

滋賀県心身障害者扶養共済制度

この制度は、各都道府県が障がい者の保護者の相互扶助の精神に基づき、保護者死亡後の障がい者に終身一定額の年金を支給することにより障がい者の生活の安定と福祉の増進に資することを目的とします。加入者数は、口数ベースで、82,260人、年金受給者は、49,467人となっております。(平成23年度現在)加入者・受給者の皆様、住所等の変更がありましたら、扶養共済窓口までご連絡ください。

■扶養共済窓口
TEL:0749-73-3910 FAX:0749-73-3920



いつも元気でね健診

かいつぶり診療所では、障がいのある子どもを育てるご家族を対象に、血圧・血液検査などの健康診断を行なっています。保育・療育完備です。詳しくは下記までご連絡下さい。



お申込・お問い合わせはかいつぶり診療所まで

TEL:077-514-1715

赤い羽根共同募金

社会福祉法人滋賀県障害児協会では、赤い羽根共同募金(社会福祉法人滋賀県共同募金会)からの配分を受けて、かいつぶり通信の発行をしています。

<http://www.akaihane.or.jp/>

赤い羽根共同募金ホームページ



編集後記

今年も夏の電力不足に先駆け、クールビズが5月から始まりました。梅雨入りは例年より10日ほど早くなりました。私が学生のころは6月1日が衣替えで夏の制服になりました。季節の移ろい、政策的誘導、何を軸として生活していくべきか…。せめて通信だけはきちんとお届けしたいと思ってはいるのですが…。頑張ります。(植松)

【編集人】

社会福祉法人 滋賀県障害児協会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいつぶりハウス内
[TEL]077-514-1685 [FAX]077-514-1702 [URL]<http://open-mind.jp>
[E-MAIL]kaitsuburi@open-mind.jp

滋賀県障害児者と父母の会連合会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいつぶりハウス内
[TEL]077-583-6395 [FAX]077-514-1702
[URL]<http://hubonokai.open-mind.jp> [E-MAIL]info2005@open-mind.jp

■1984年 8月20日 第三種郵便物承認 每月1・2・3・4・5・6・7・8の日 発行 ■発行人 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F 定価100円